

市町村指定文化財取材票《表》

取材日	2023年	2月	(記入者) 垣内博久		
取材参加者	石井	垣内	久門	小西	島田
	本井				
取材対象先	大和郡山市：永慶寺山門、柳澤吉保、同夫人坐像				

所在地	大和郡山市永慶寺町5-76				
所有者（取材対応者）名	城野順臣住職（個人情報守秘）		連絡先	0743-52-2909	
	PCアドレス				
取材申込	申込先・行政名など：永慶寺				
市町村指定文化財	彫刻	2 軀	柳澤吉保、同夫人坐像 1975（昭和50）年11月3日指定...①		
	建造物	1棟	永慶寺山門 1975（昭和50）年11月3日指定...②		
文化財指定理由	①京都七条仏師の系譜の人物の作で、両像とも正装姿で威儀を醸し出している。②豊臣秀長が郡山城主時代の南御門の移築で、郡山城唯一の遺構として貴重。				

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	柳澤吉保、同夫人坐像が安置されている香厳殿には消火器1本。火災報知機、スプリンクラー等はなし。 山門は特になし。	香厳殿は特になし。 山門は現状で仕方ない。
	被害の有無、対策など	記入者の感想
獣害対策	特になし。市中のため獣害の懸念はない。	現状で問題なし。
管理者の全体的要望・提案など	特になし。	

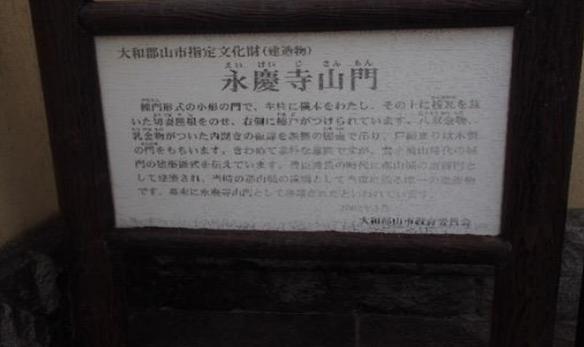
取材を終えて感じた文化財保護状況の全体的今後の課題（修復、維持、管理・環境など）

香厳殿は現状のまま柳澤家の仏間として管理されていくと考える。
山門に目立った傷み等はない。現状のままの保存を続け、必要があれば修復するものと思われる。

市町村指定文化財取材票《裏》①

取材日	2023年	2月	18日	(記入者) 垣内博久	
取材参加者	石井	垣内	久門	小西	島田
	本井				
取材対象先	大和郡山市：永慶寺山門				

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 永慶寺山門	
山門（正面）	山門（左に説明板）
	
山門（裏）	説明板
	
文化財の由緒・説明板の有無など	記入者の感想
<p>豊臣秀長が城主であった時に建てられた郡山城の南御門を移築したもの。郡山城の遺構として唯一残るものである。説明板はあるが少しかすれてきている。</p>	<p>傷み等はほとんどなく、状態は良い。郡山城の唯一の遺構として後世に残されたい。</p>

市町村指定文化財取材票《裏》②

取材日	2023年	2月	18日	(記入者) 垣内博久	
取材参加者	石井	垣内	久門	小西	島田
	本井				
取材対象先	大和郡山市：永慶寺の柳澤吉保、同夫人坐像				

〈写真撮影許可済み〉

文化財指定名 柳澤吉保、同夫人坐像	
本堂（大雄宝殿）	香厳殿
	
柳澤吉保、同夫人坐像	香厳殿横の消火器
	
文化財の由緒・説明板の有無など	記入者の感想
江戸時代（18世紀）に甲府の仏師により制作された等身大の寿像。柳澤家の仏間である香厳殿に安置。像高は吉保像が85.0cm、夫人定子像が80.8cm。非公開で説明板はない。永慶寺は1724年郡山への転封に伴い移転。本堂の本尊は釈迦三尊。韋駄天像、毘沙門天像、華光菩薩像、悦峯道章像、いずれも移転時に京仏師により製作。境内には虚子、青畝、森田峠の句碑がある。	像を安置する香厳殿は平成18年に建築されたもので、柳澤家の仏間のため通常非公開で保存状態は良い。特に目立った防災施設はない。常時5、6人の僧侶が居住するので一応は安心できる。市の指定文化財ではあるが柳澤家のプライベート感が深い。